

「 宝本エピソード 」

昨年度、たくさんの方々から、エピソードをいただきました。
 その中のいくつかを紹介します(鹿児島県立図書館ホームページでも公開中です)。
 本年度もおやこの心温まるエピソードをお待ちしております。

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30px; text-align: center;">父</div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30px; text-align: center;">子</div> </div> <p>書名 しょうぼうじどうしゃしぶた 著者名 渡辺茂男 絵 山本忠敬 出版社名 福音館書店</p>	<p>【エピソード】</p> <p>当時、消防車が大好きだった長男（2歳）に、保育園の先生からプレゼントしていただいた本です。息子への読み聞かせなど、照れくさくて、妻に任せきりの私でしたが、この本はどうしても私に読んでもらわないと気がすまないらしく、いつも寝る前に持ってきていました。毎日寝るまで、2度も3度も読んだ本です。半人前の扱いを受けていたしぶたが、活躍する姿を息子と二人で爽快な気分読んでいました。 私に読み聞かせの大切さを教えてくれた本です。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30px; text-align: center;">母</div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30px; text-align: center;">子</div> </div> <p>書名 大どろぼうホツエンプロッツ 著者名 オトフリート・プロイスラー 訳 中村浩三 出版社名 偕成社</p>	<p>【エピソード】</p> <p>「大どろぼう」ときいたとき、とてもわくわくしませんか。 母のすすめで読んでみたところ、ページをめくる手が止まりませんでした。大人でも子どもでも楽しめる本で、母と一緒に読みました。 絵がとても個性的で見ても楽しく、そこまで長くもない、読みやすい本です。作者は外国人なので、読んでいて文化の違いもおもしろいと感じました。また、いろいろな発想で、予想がつかない展開です。 この本を読んで、人と関わるすばらしさ、様々な方向からの発想力を学びました。母と私だけでなく、家族ぐるみで大好きな本です。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30px; text-align: center;">私</div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30px; text-align: center;">父</div> </div> <p>書名 君の臍臓をたべたい 著者名 住野よる 出版社名 双葉社</p>	<p>【エピソード】</p> <p>私は、この「君の^{すいぞう}臍臓をたべたい」という本をきっかけに、父と会話が弾むようになりました。 父が「この本おもしろいかなあ……。」と気にしていたので、「私が持っているから、貸してあげる。」というのが最初でした。読み終わると「あの場面は、〇〇だった。」など、お互い感想を話し合うようになり、気軽に話せるようになりました。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30px; text-align: center;">母</div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30px; text-align: center;">子</div> </div> <p>書名 びりっかすの神さま 著者名 岡田 淳 出版社名 偕成社</p>	<p>【エピソード】</p> <p>息子が学校から帰るなり、「今日、おもしろい本見つけてきたんだあ。」と開いた表紙を見て、私はびっくり！！何と、その本は、私が息子と同じ小学校4年生の時に借りて大好きになり、読書感想文まで書いた本だったのです。母にそのことを話すと、「あら……、これでしょう！？」と、当時私の書いた感想文を引っ張り出してくれました。「びりでも良い。人と競争するより、一番をとることより、自分の全力を出すことが大切なのだ！と、この本が教えてくれました……。」と、小学生ながら、熱い思いがつつられていました。ちょっぴり怠け心が湧いてしまった時、「びりっかすの神さまがみているよ〜。」それが、私と息子の合い言葉です。</p>